

GV-AI FR



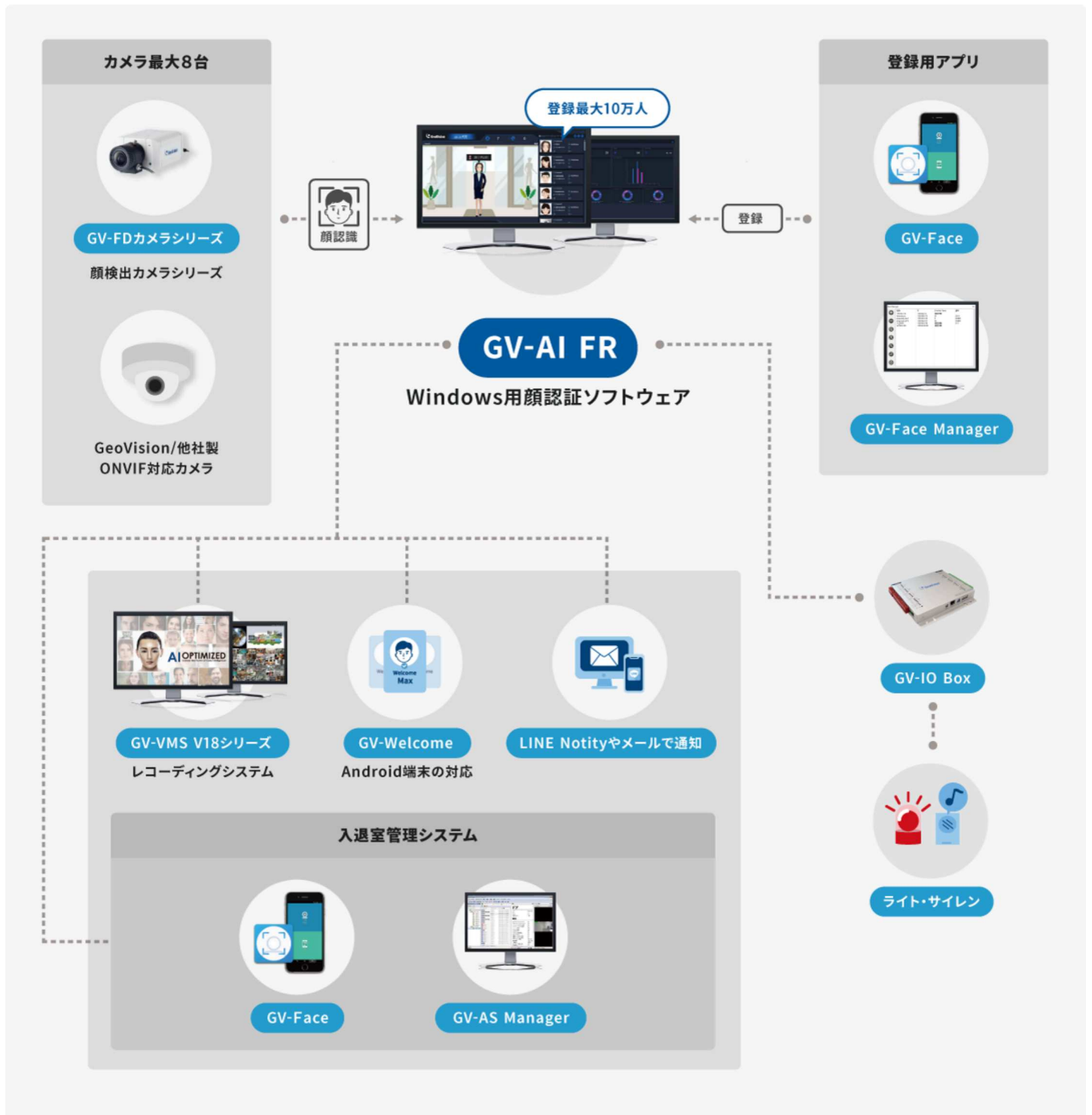
概要

GV-AI FRは、ネットワークカメラの映像をサーバーに送り、サーバー側で顔検出および認証を行う顔認証用ソフトウェアです。

顔検出/顔認証、年齢性別を判断し、その結果を集計します。更に、その顔認証結果をLINE Notifyや外部機器(I/O)でお知らせしたり、登録者を認証するとWelcome Cardを表示することもできます。また、認証結果を性別、年代、期間、グループ、名前などから検索することも可能です。

レコーディングシステム GV-VMS V18シリーズや入退室管理システムGV-ASManagerとの統合も可能。スマートフォンやタブレット端末上での遠隔監視にも対応します。

最大8台のカメラを接続でき、ONVIFカメラに対応しているため既存のネットワークカメラをそのまま使用することもできる、新しいニーズにお応えする顔認証ソリューションです。



主な機能

- ネットワークカメラ最大8台接続可能
- リアルタイムの顔認識とトラッキング
- マスクを着けたまま顔認識が可能
- 顔1人当たりの平均認識速度は 1 秒以内 (認識対象の人物がカメラに向かって移動している場合)
- 顔データベースでは最大10万人の顔のプロフィールを管理 (1つのプロフィールにつき顔画像3枚)
- 年齢・性別による顔のプロファイリング
- 認識時に印刷された写真などの無生物ではないことを確認するための生体検知
- 認識された顔の年齢・性別を数や割合で表す統計グラフの自動作成
- 日別/週別/月別/年別/時間別の顔認識数をエクスポート可能

- 顔認識イベントによる検索
- GV-VMS V18シリーズとの統合による顔認証イベントの録画・再生
- GV-ASManagerとの統合によるアクセスデータと顔プロフィールをペアリングしたアクセス管理
- 複数のGV-AI FRを一元化されたフェイスデータベースで相互接続するためのマスター&サブ機能
- アクセスマネジメント用の他社製コントローラとの物理接続 (LAN内のGV-FWCやGV-COM V3+GV-WTR経由)

ライブモニタリングとWelcome

人が施設に入ると、事前に登録した顔データの照合を行い、接続されたWelcome画面に表示できます。

Dashboard & Average Hourly / Daily Face Count

DashboardとAverage Hourly FR Count機能は、それぞれ1日以内の顔認証イベントの年齢と性別の分布、および選択した日、週、月、年の1時間ごとの平均顔認証数を表示します。



ライセンス

GV-AI FRは、別途ライセンス(認証用USB dongle)が必要となる有料ソフトウェアです。1~8チャンネルから1チャンネル単位で利用できます。

| | |
|-------------|--------------|
| 無料ライセンス | N/A |
| 最大ライセンス(有償) | 8チャンネル |
| ライセンスの増分 | 1チャンネル |
| dongleタイプ | 外付けタイプと内蔵タイプ |

注:

認証用 USB Dongle(GV-USB Dongle)は、外付けタイプと内蔵タイプの2種類があります。内蔵タイプは「ハードウェアウォッチドッグ」機能を搭載しており、Windowsがクラッシュした際にPCを自動再起動させることができます。

最小システム要件

| | | 1 - 4チャンネル | 5-8チャンネル |
|----------|--------|----------------------------------|---------------------------|
| OS | 64-bit | Windows 10 / 11 | |
| CPU | | 第 8 世代 Intel i7 / i9 以上 | |
| メモリー | | 8 GB (4 GB x 2) DDR4 RAM | 16 GB (8 GB x 2) DDR4 RAM |
| リモートアクセス | | Microsoft Internet Explorer11 以降 | |

注:

- 顔認識には、第8世代 Intel Core i7 / i9 以降のグラフィックプロセッサを使用する必要があります。
(モニターが PCに接続されている場合にのみ対応しています)
- IntelCoreプロセッサのみがGV-AIFRと互換性があります。他のブランドのCPUはGV-AIFRでは対応していません。
- ブラウザを介してリモートアクセスを行う場合、Internet Explorer(IE)を使用する必要があります。一部の機能は IE 以外のブラウザでは対応していません。
- GV-AI FRは仮想PCのインストールには対応していません。

仕様

| | | |
|---------------|--|--|
| ビデオ入力 | 最大8チャンネル | |
| ビデオコーデック | H.264, H.265 | |
| ビデオ解像度 | 1 チャンネルあたり最大2メガピクセル | |
| IP カメラ対応 | GV-FD顔検出カメラ(GV-BX2600-FD / 2700 / 2700-FD / 4700 / 4700-FD / 8700-FD, GV-MD8710-FD)、ONVIFまたは RTSP、USBウェブカメラを介した IPカメラ | |
| ネットワーキング | LAN, WAN, Internet | |
| 画像解析 | 機能 | 顔検出、顔認証、年齢性別検出、生体検知 |
| | 認証スピード | 認識ターゲットがカメラに向かって移動しているとき、顔ごとに1秒以内 |
| | 顔データ数 | 100, 000 |
| | 顔グループ数 | 無制限 |
| | 相互接続可能数 | 11(マスター x 1 + スレーブ x 10、マスターが管理する1つのフェイスデータベースを共有) |
| 画像解析イベントのトリガー | I/O Box出力、シリアルポート出力、LINE通知、アクセスコントローラのトリガー * LINEのポリシー変更により、GV-AI-FRでのLINE Notifyは3月31日までの対応となります。2025年4月1日以降、LINE Notifyの全機能が利用できなくなります。 | |
| ソフトウェアの統合 | GV-VMS V18.1 以降(ビデオ監視)、GV-ASManager V5.3.0 以降(アクセスコントロール) | |
| モバイルアプリケーション | GV-Face for Android/iOS モバイルデバイス(顔登録、イベントの表示と検索)、GV-Welcome for Android TV ボックス / モバイルデバイス(Welcome 画面表示用) | |
| 言語 | 英語 | |

注:仕様は予告なく変更される場合があります。

オプション

| | |
|---------------|---|
| GV-COM V3 | GV-COM V3は、コンピュータのUSBポートを通じて、1つのRS-485シリアルポートを追加することができます。 |
| GV-IOボックスシリーズ | GV-IOボックスシリーズ(4E/8E/16E)は、それぞれ4点/8点/16点のセンサー機器入力とリレー出力を備えており、DC出力電圧とAC出力電圧両方に対応します。オプションでイーサネットモジュールと4Eに対応し、さらにPoE、TCP/IPおよびRS-485接続にも対応します。 |
| GV-FWC | GV-FWCはFace IDとひもづいたアクセスカードリーダーをTCP/IPまたはWiegand接続を介してコントローラに送信することができます。GV製顔認証カメラ及びGV-AI FRをGV製及び他社製入退室管理システムに統合することができます。 |
| GV-WTR | GV-WTRは、GV製RS-485インタフェースリーダーからGV製RS-485へまたWiegandコントローラへの接続、他社製Wiegandに統合するように設計されたコンバーターです。GV-WTRを介して、Wiegand / GV-RS-485インタフェースリーダーの両方をさまざまなアクセスコントロールシステムに簡単に組み合わせ、汎用性を高めることができます。 |